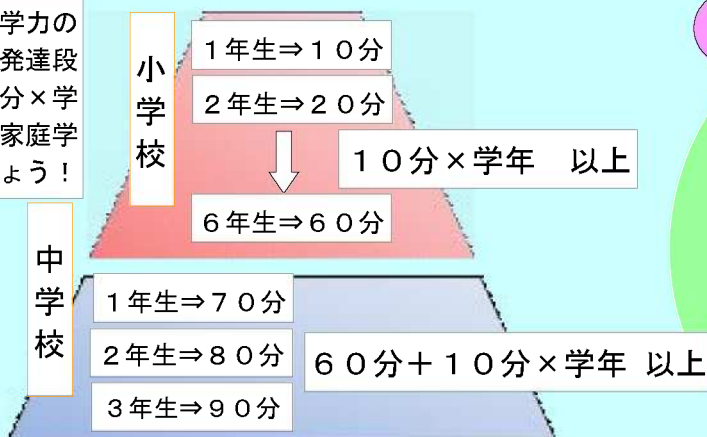


家庭学習の手引き(小学校)

【毎日、続けることが大切です】

子どもたちの基礎学力の定着を図るために、発達段階に合わせて〔10分×学年〕を基準に、毎日家庭学習に取り組ませましょう！



保護者の皆様へ

由仁町学力向上委員会では、子どもたちが自信を持って授業に参加するには、家庭学習の習慣化を図ることが大切だと考え、「家庭学習の手引き」を作成しました。

各家庭でこの手引きをご活用いただき、子どもに学習の習慣をつけるようにご協力をお願いします。

家庭学習のやくそく



- 宿題があるときは、まずそれを先にする。
- 家庭学習用のノートを準備する。(授業のノートとは別にする。)
- 多少疲れていても、ねむくても、毎日続ける。
- 学習した内容は、おうちの人に見てもらおう。

家庭学習で取り組んでほしいこと

【低学年】(1～2年生)

こんな 学しゅうを してみよう	家庭での協力
<p>きょうかしよを こえをだして よんでみよう。</p> <p>ひらがなや カタカナ ならった かんじの れんしゅうを しよう。</p> <p>きょうの たのしかった できごとを 文に してみよう。</p> <p>じかんわりを みて あしたの よういを しよう。</p>	<p>できるだけ、家の人がいる場所で学習させましょう。</p> <p>テレビを消して、学習に集中できるようにしましょう。</p> <p>本読みを聞いたり、やり終わったノートを見たりして、励ましてあげましょう。</p> <p>早寝、早起き、朝ごはんなど、基本的な生活習慣を身に付けさせましょう。</p>
<p>すきな 本を よもう。</p> <p>たしざん ひきざん かけざん九九を やってみよう。</p> <p>きょうかしよの 文を ていねいに うつしてみよう。</p> <p>まいにち つづけようね!</p>	

家庭学習で取り組んでほしいこと

【中学年】(3～4年生)

こんな学習をつづけよう

家庭での協力

文の意味を考えながら、教科書を読もう。

たしざん ひきざん かけざん九九を やってみよう。

時間を決めて、毎日学習させましょう。

おくりがなや書き順に注意して、漢字の練習をしよう。

社会や理科の本を見て、次はどんな学習をするのかかくにんしよう。

静かな環境を整え、集中して学習させましょう。

今日のできごとや、心に残ったことを書いてみよう。

本読みを聞いたり、学習したノートを見たりして、励ましてあげましょう。

時間割を見て、明日のじゅんぴをしっかりとしよう。

けいぞくは
かなり！



好きな本を読んで、だいなや作者をきろくしよう。

夜、遅くまで起きていることがないように、できるだけ早い時刻から勉強させましょう。

家庭学習で取り組んでほしいこと

【高学年】(5～6年生)

こんな学習に挑戦！

家庭での協力

わからない言葉は、国語辞典や漢字辞典でしっかり調べ、意味をノートに書いておこう。

本を読んで、かんたんなあらすじや感想を書こう。

他の活動と合わせても十分な学習時間がとれるよう生活リズムを確立させましょう。

教科書がすらすら読めるように練習しよう。

計算問題は、時間を決めて取り組む、速く正確に問題を解こう。
取りよりにし、よく考えて粘り強く解こう。

決められた勉強時間は、集中して机に向かい学習しているか、確認しましょう。

「止め」「はね」などに注意しながら、正しい漢字が書けるように練習しよう。

時間割を見て、明日の準備をしっかりとしよう。

家庭学習ノートを見るなどして、努力の様子がみえたら、ほめてあげましょう。

日記を書こう。

努力に勝る
天才なし！



理科や社会は、その日の学習を、本やノート、興味のある本や雑誌、その日の学習内容をメモして記録しよう。

規則正しい生活や「早寝、早起き、朝ご飯」を定着させましょう。